

68 期生

2年生学年だより

豊中市立第五中学校 2020年12月16日(水) No.24

キャリア教育～壁新聞発表会～

12月11日(金)にクラスで壁新聞発表会を行いました。制作の中では、全体の構成を考える人、掲載する文章を考える人、イラストを描く人等に分かれて作業している様子があり、内容の充実した新聞が揃いました。新聞発表では、少し緊張している様子もありましたが、クイズ形式で事業所の説明をする等、工夫している班もありました。

毎年五中では、「はみごのないまち・学校をつくろう」というテーマで人権フェスタ『ひまわり』を12月に実施しています。1年生の時は、ボランティア学習の取り組みの発表と学年全体で「パプリカ」の歌を手話付きで合唱しましたね。今年度は『ちいさなひまわり』として、学年で他のクラスの発表を聴き合い、終業式の日には議員さんより各学年の取り組みの様子を発表することになりました。楽しみにしててくださいね。

振り返りより♪

《他の班の発表を見て、良かったところ、頑張っていたところ》

- クイズを出している班や写真を使って説明している班など、さまざまな工夫をしている班がたくさんあってよかった。
- いろんな班の新聞に、すごい絵を描いていたり、折り紙や来てくださった人の似顔絵を描いていた所がすごい頑張っているなと思った。
- 新聞を読み終わった人が次に読む人のために場所を変わってあげていたところが良かった。クイズや豆知識等、ただ文章を読むだけでなく、みんなが楽しめることを用意することによって、楽しみながら知識を深めることができるのがとてもよかった。





・太陽工業の発表は、太陽工業さんの名言集（ピンチはチャンス）などとてもいい名言だと思いました。臨床工学技士会の発表は、クイズなどがあり、おもしろさもあって盛り上がり、よかったです。

・ジェスチャーを使い、みんなが分かりやすいように発表していた。新聞が読みやすいように、たくさん色を使っていた。



《新聞づくりや発表を終えての感想》

- ・新聞づくりは、みんなで相談してレイアウトを考えたりできた。発表は落ち着いて練習よりも大きな声で言えたと思います。紙を見ながら話をして、少ししか前を見なかったのが、次は自信を持って前を見られるようにしたいです。
- ・新聞づくりと発表のどちらもしっかり役割分担してから作成すると、もっと効率よくうまくできたなと思った。
- ・今回の反省は自分が発表する場で笑ってしまったことと、自分が発表しているときに、ずっと下を向いていたことが反省です。他の班の人の発表はほとんどの人が前を向いて話していたのに、自分だけ下を見て話しているのは恥ずかしいと思いました。
- ・新聞づくりは、臨床工学技士会の方たちにプリントをもらい、そこの中からまとめて新聞をつくりました。縦見出しや横見出しをどうするかにか時間がかったけど、そこからみんなで協力して新聞づくりに取り組んで結果的にできてよかったです。
- ・全体を通して、班の行動のまとまりがなかった気がするので、もう少し全員で役割分担をした方がいいと思った。聴いた情報を自分たちで整理するのが大変だった。思ったより発表の原稿を考えるのに苦戦した。協力すべきところは積極的に頑張りたいと思った。
- ・発表していて思ったところは、もうちょっと早口じゃないように話せたかなと思いました。みんなで協力できて、発表しやすい雰囲気よかったですと思いました。

